



GOO°C FUTURE

さあ、グッ度な未来の冷熱技術を見にいこう。

報 告 書

ヒーバック＆アール ジャパン 2016
冷凍・空調・暖房展 2016.2.23[火] ▶ 26[金]

東京ビッグサイト 東1~2ホール 主催：一般社団法人 日本冷凍空調工業会 [\[HVAC&R2016\]](#) [\[検索\]](#)



報告書



ヒーバック & アール ジャパン 2016 第39回 冷凍・空調・暖房展 2016.2.23[火]~26[金] 東京ビッグサイト 東1~2ホール 主催:一般社団法人 日本冷凍空調工業会

「さあ、グッ度な未来の冷熱技術を見にいこう。」をキーワードに、あらゆる温度帯で活躍する、高効率な冷凍・空調・暖房技術が集結。展示会・セミナーともに盛況裡に終了しました。



東京ビッグサイト



エントランス



登録所



展示会場内



祝賀レセプション



開会式

左から
日本冷凍空調工業会 政策審議会 酒井 猛 会長
日本冷凍空調工業会 本郷 一郎 会長
経済産業省 製造産業局 産業機械課
佐脇 紀志代 課長
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
坪久田 庄二 執行役員



展示会場俯瞰から

目次

ごあいさつ	P1
開催概要	P2
来場者概要	P3
会場図	P4-5
出展者一覧	P6-7
情報発信コーナー他 併催企画	P8-9
基調・一般講演／出展者プレゼンテーション	P10-11
アンケート結果	P12-13
来場者アンケート	P12
出展者アンケート	P13
第1回ベストブースコンテスト結果	P14
広報・宣伝活動	P15-17

ごあいさつ ➔

HVAC&R JAPAN 2016を終えて

HVAC&R JAPAN 2016（第39回冷凍・空調・暖房展）は、去る平成28年2月23日(火)より26日(金)の4日間にわたり、東京ビッグサイトにて開催され、盛況裡に終了いたしました。

冷凍空調業界における我国最大規模のトレードショーとして、国内のみならず海外からも多くのお客様がご来場され、世界最高水準の技術をご覧いただく場に相応しい展示会にすることができました。これもご参加いただきました企業・団体の皆様に、積極的なご提案・展示をいただいた成果であり、また冷凍・空調機器に关心の高いユーザーの皆様にご参集いただいたことによるものと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今回まず印象に残ったのが各社展示ブースで、ヒートポンプの産業用・寒冷地・その他多様な用途への拡大技術や、各種センサ・マネージメントシステムなどの制御との組み合わせ技術、それらの活用による省エネ性・快適性の追及や多様なエネルギー源の利用など、機器の省エネや節電が主体であった従来技術の範疇から大きく拡大しつつあることに強く感銘を受けました。冷凍空調分野の今後の技術の発展が大いに期待できるのではないかとうか。また、新たなビジネスチャンスを広げる新技術や機器が多く展示・提案され、来場されたお客様からの高い関心を集めていたことも心に残りました。

更に、これまで好評をいただいている著名な講師による「基調講演」「一般講演」に加え、今回は「特別企画」として海外の識者による海外各国の最新動向に関する講演も開催し、中には事前申込で満席となり、当日会場でキャンセル待ちの列ができるほどだったと伺っています。

こうした結果、出展企業は海外41社を含め188社、出展小間数は734小間となり、出展企業数・小間数とも過去最大の規模となり、来場者数も27,383名と多くの皆様にお越し頂くことができました。

今回の「HVAC&R JAPAN 2016」では「さあ、グッ度な未来の冷熱技術を見に行こう」をテーマスローガンに、当工業会が取扱う最新の機器・システム及び省エネ技術・新冷媒技術・エネルギー・マネージメント技術により、環境配慮型社会の実現に大きく寄与することを紹介させていただきました。国内における「フロン排出抑制法」の完全施行、COP21における「パリ協定」の成立など、気候変動対策への関心が高まる中でこのような実績を残せたことは、冷凍空調業界に身を置く一人として誠に喜ばしく、一方で、今まで以上に高まる世の中からの期待に応えていかなければならないとの気持ちを改めて感じ、身が引き締まる思いです。今後も冷凍・空調・暖房分野や新たなヒートポンプ技術の適用分野拡大などで、エネルギーの有効利用と地球環境保護など、社会への貢献をより一層進めてまいります。

最後に、このような大成功を収めることができましたのも、ひとえに出展各社をはじめ、関係官庁、協賛団体・学会、ならびに報道機関、そしてご来場いただいた多くのお客様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。加えて、次回の「HVAC&R JAPAN 2018」は開催会場を幕張メッセに移しますので、より多くの企業・団体の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

一般社団法人 日本冷凍空調工業会
会長 本郷 一郎



開催概要

● 展示会名称 : HVAC&R JAPAN 2016 (ヒーバックアンドアールジャパン)
第39回冷凍・空調・暖房展

● 会期 : 2016年2月23日(火)~26日(金) 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

● 会場 : 東京ビッグサイト東1・東2ホール

● 主催 : 一般社団法人日本冷凍空調工業会

● 後援 : 経済産業省

● 展示会規模 : 188社 / 734小間

● 入場料 : 1,000円(事前登録もしくは招待状持参で無料)

● 協賛 :

- ウレタンフォーム工業会
- 公益社団法人 空気調和・衛生工学会
- 一般社団法人 建築設備技術者協会
- 一般財団法人 省エネルギーセンター
- 一般財団法人 新エネルギー財団
- 一般社団法人 全国建設業協会
- 一般社団法人 ソーラーシステム振興協会
- 一般社団法人 電気設備学会
- 一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター
- 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会
- 公益社団法人 日本空気清浄協会
- 一般財団法人 日本空調冷凍研究所
- 一般社団法人 日本産業機械工業会
- 一般社団法人 日本自動車車体工業会
- 一般社団法人 日本設備設計事務所協会
- 日本暖房機器工業会
- 一般社団法人 日本電気計測器工業会
- 一般社団法人 日本熱供給事業協会
- 日本フォームスチレン工業組合
- 一般社団法人日本保温保冷工業協会
- 日本床暖房工業会
- 公益社団法人 日本冷凍空調学会
- 一般社団法人 日本冷凍食品協会
- 発泡スチロール協会
- 一般社団法人 プレハブ建築協会
- 一般財団法人 家電製品協会

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
高圧ガス保安協会
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会
全国電機商業組合連合会
電気事業連合会
一般社団法人 電子情報技術産業協会
一般社団法人 日本ガス協会
一般社団法人 日本機械工業連合会
一般社団法人 日本空調衛生工事業協会
一般社団法人 日本建設業連合会
一般社団法人 日本食品機械工業会
一般社団法人 日本自動販売機工業会
一般社団法人 日本太陽エネルギー学会
日本チェーンストア協会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 日本バルブ工業会
日本フルオロカーボン協会
一般社団法人 日本ボイラ協会
日本冷却塔工業会
一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会
一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター

(50音順)

来場者概要



ヒーバック & アール ジャパン 2016
第39回 冷凍・空調・暖房展 2016.2.23[火]~26[金]
東京ビッグサイト 東1~2ホール 主催:一般社団法人 日本冷凍空調工業会

来場者数 4日間合計 27,383人 (前回実績 27,516人)

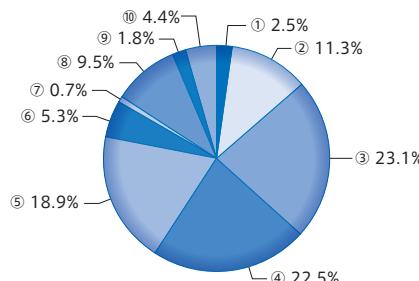
開催日	天候	来場者数
2月23日 (火)	くもり	5,867人
2月24日 (水)	くもり	7,774人
2月25日 (木)	晴	7,721人
2月26日 (金)	晴	6,021人
	合 計	27,383人



登録受付風景

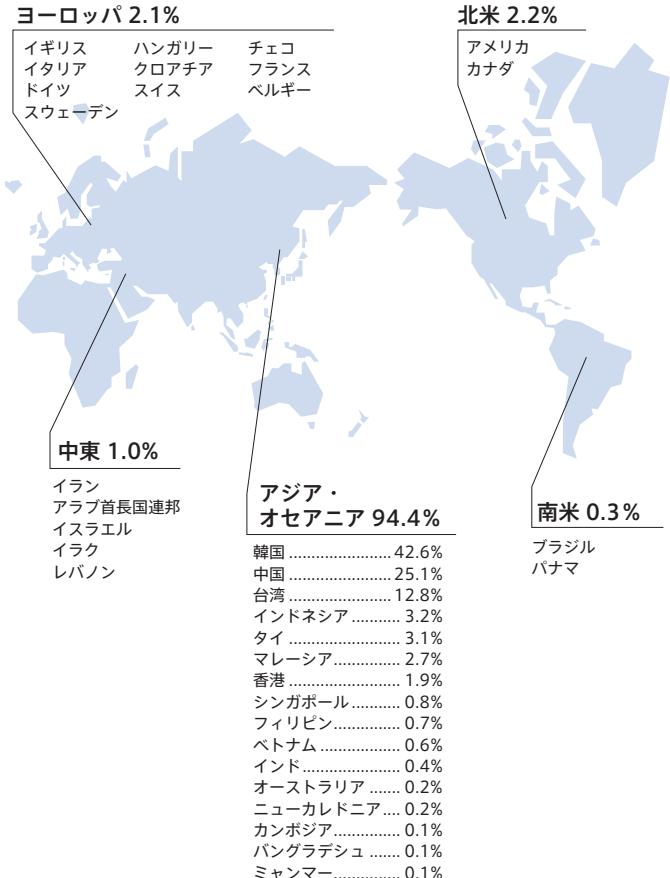
業種・職種・年齢内訳と海外からの来場者

① 業種内訳

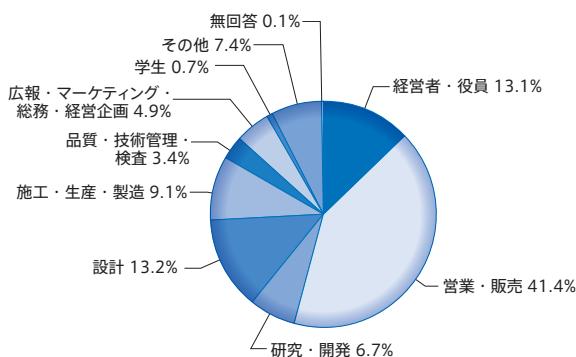


- ① 官公庁・自治体・団体・教育/研究機関 等
- ② 建設業・設計・施工・工務店
- ③ 設備・電気・管工事業・保守/関連サービス業
- ④ 冷凍空調暖房機器メーカー・関連機器メーカー
- ⑤ 商社・代理店・流通・小売業・卸売業
- ⑥ 電力・ガス・エネルギー事業者
- ⑦ 報道・メディア・出版・他プレス関連
- ⑧ 一般(製造業)
- ⑨ 一般(非製造業)
- ⑩ VISITOR(その他)

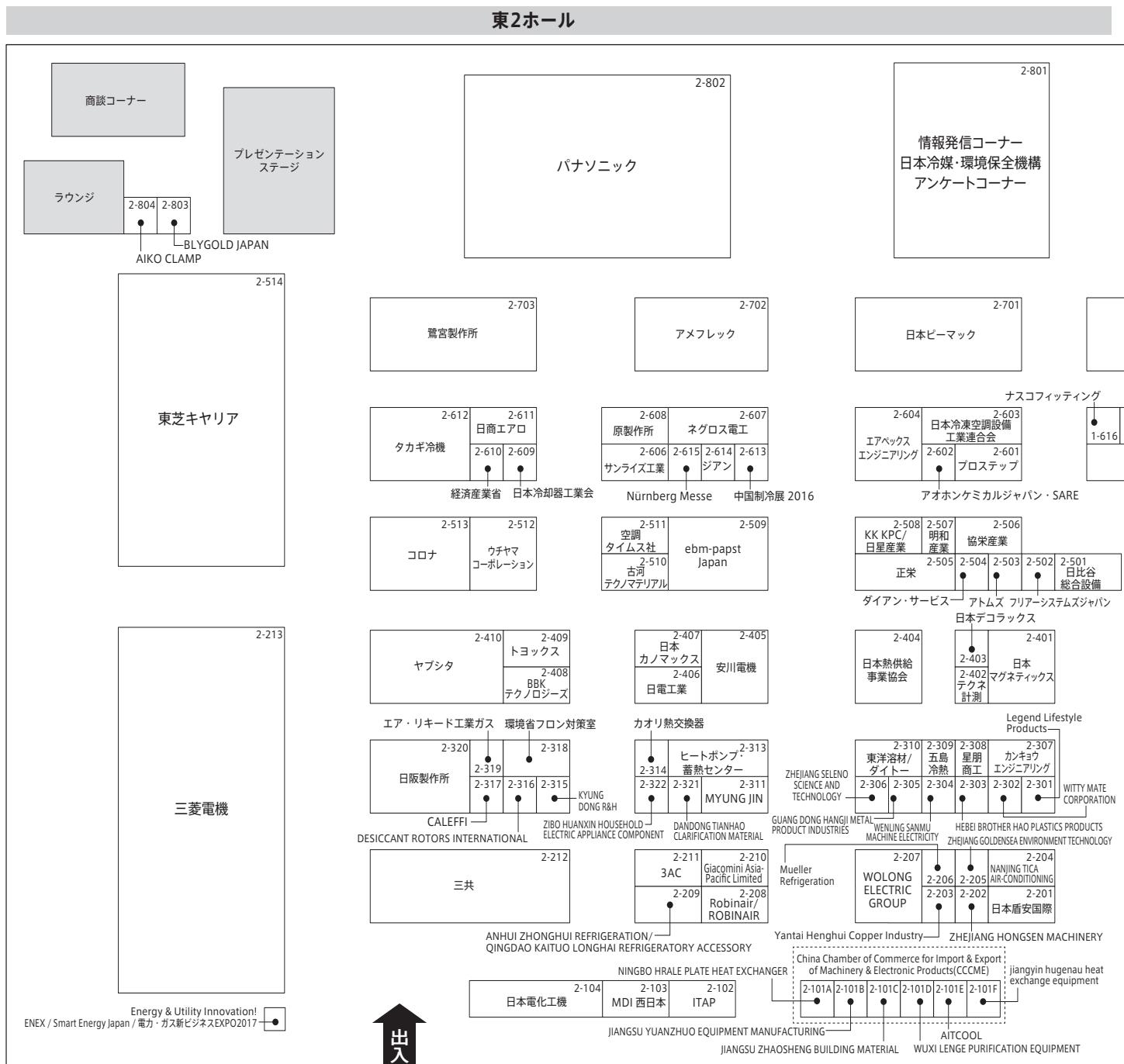
② 海外来場者 35ヶ国・地域／1132名



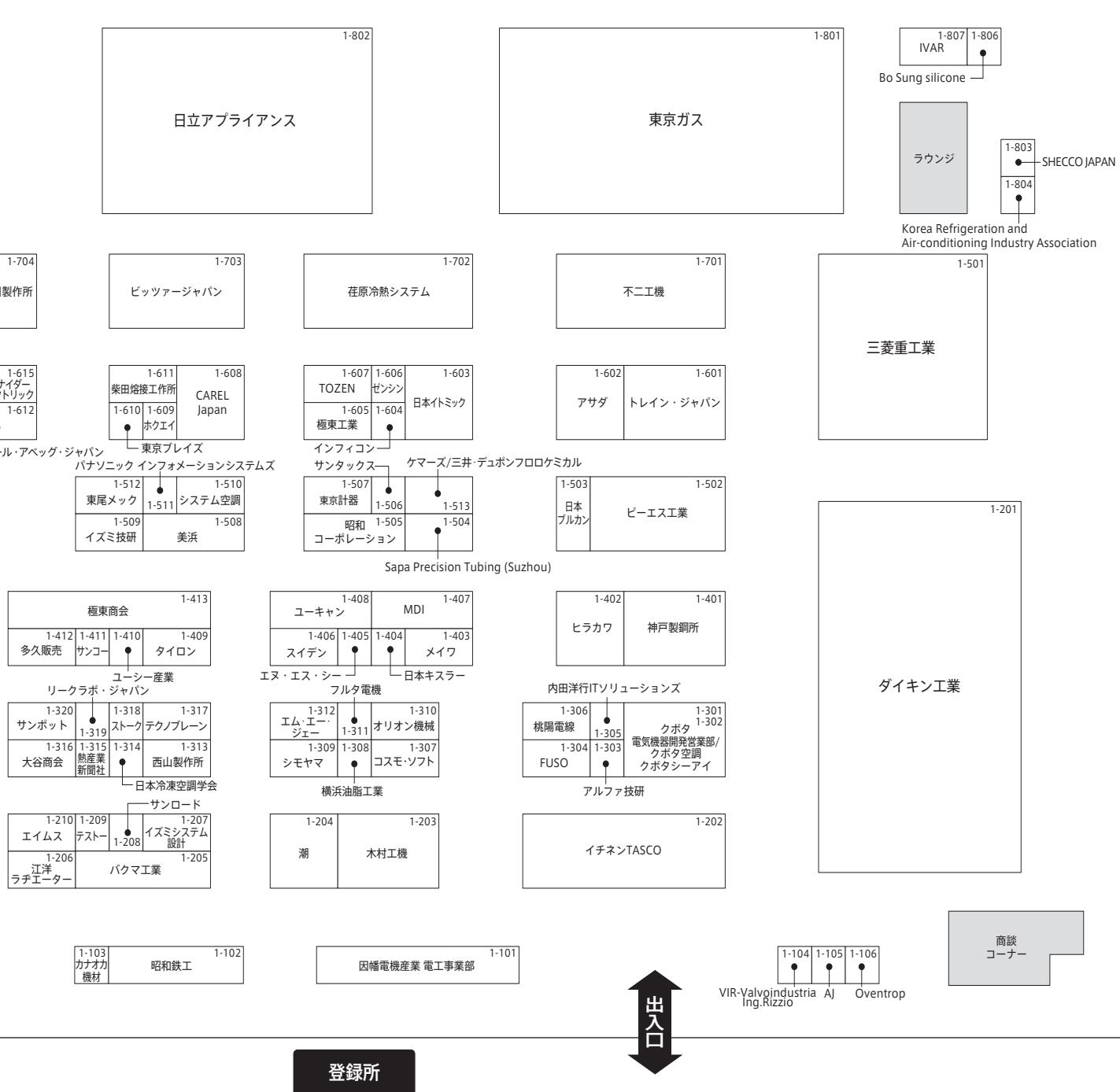
③ 職種



会場図



東1ホール



出展者一覧

出展者名	Booth.NO	出展者名	Booth.NO
アオホンケミカルジャパン・SARE株式会社	2-602	- Danfoss A/S	2-703
アサダ株式会社	1-602	株式会社三共	2-212
株式会社アトムズ	2-503	株式会社サンコー	1-411
株式会社アメフレック	2-702	サンタックス株式会社	1-506
株式会社アルファ技研	1-303	サンポット株式会社	1-320
ebm-papst Japan 株式会社	2-509	サンライズ工業株式会社	2-606
株式会社イズミ技研	1-509	株式会社サンロード	1-208
株式会社イズミシステム設計	1-207	三和商工株式会社	2-503
株式会社イチネンTASCO	1-202	株式会社ジアン	2-614
因幡電機産業株式会社 電工事業部	1-101	ジール・アベック・ジャパン株式会社	1-612
インフィコン株式会社	1-604	株式会社システム空調	1-510
株式会社潮	1-204	有限会社柴田熔接工作所	1-611
株式会社内田洋行ITソリューションズ	1-305	株式会社シモヤマ	1-309
ウチヤマコーポレーション株式会社	2-512	シュナイダーエレクトリック株式会社	1-615
エアペックスエンジニアリング株式会社	2-604	正栄株式会社	2-505
エア・リキード工業ガス株式会社	2-319	株式会社昭和コーポレーション	1-505
株式会社エイムス	1-210	昭和鉄工株式会社	1-102
株式会社AJ	1-105	株式会社スイデン	1-406
株式会社エヌ・エス・シー	1-405	株式会社ストーク	1-318
荏原冷熱システム株式会社	1-702	星朋商工株式会社	2-308
エム・エー・ジー株式会社	1-312	ゼンシン株式会社	1-606
MDI株式会社	1-407	株式会社ダイアン・サービス	2-504
MDI株式会社 西日本	2-103	ダイキン工業株式会社	1-201
株式会社大谷商会	1-316	株式会社ダイトー	2-310
オリオン機械株式会社	1-310	タイロン株式会社	1-409
カ 株式会社カナオ力機材	1-103	タカギ冷機株式会社	2-612
株式会社カンキョウエンジニアリング	2-307	多久販売株式会社	1-412
環境省フロン対策室	2-318	株式会社テクネ計測	2-402
木村工機株式会社	1-203	テクノブレーン株式会社	1-317
CAREL Japan 株式会社	1-608	株式会社テスト	1-209
協栄産業株式会社	2-506	東京ガス株式会社	1-801
極東工業株式会社	1-605	東京計器株式会社	1-507
- 有限会社塚本空調設備	1-605	東京ブレイズ株式会社	1-610
株式会社極東商会	1-413	東芝キヤリア株式会社	2-514
株式会社空調タイムス社	2-511	桃陽電線株式会社	1-306
株式会社クボタ 電気機器開発営業部	1-301	- 株式会社東洋機工	1-306
クボタ空調株式会社	1-301	株式会社東洋溶材	2-310
クボタシーアイ株式会社	1-302	株式会社TOZEN	1-607
経済産業省	2-610	株式会社トヨックス	2-409
KK KPC/日星産業株式会社	2-508	トレイン・ジャパン株式会社	1-601
ケマース/三井・デュポンフロロケミカル株式会社	1-513	ナスコフィッティング株式会社	1-616
株式会社神戸製鋼所	1-401	株式会社西山製作所	1-313
江洋ラヂエーター株式会社	1-206	日電工業株式会社	2-406
五島冷熱株式会社	2-309	日商エアロ株式会社	2-611
株式会社コスマ・ソフト	1-307	日本ピーマック株式会社	2-701
株式会社コロナ	2-513	日本ブルカン株式会社	1-503
ナ 株式会社鷺宮製作所	2-703	株式会社日本イトミック	1-603
- 日本ジー・ティー株式会社	2-703	日本カノマックス株式会社	2-407

出展者名	Booth.NO	出展者名	Booth.NO
日本キスラー株式会社	1-404	海外 力オリ熱交換器	2-314
日本盾安国際株式会社	2-201	中国制冷展2016	2-613
日本デコラックス株式会社	2-403	3AC Co., Ltd.	2-211
日本電化工機株式会社	2-104	AIKO CLAMP CO., LTD.	2-804
一般社団法人日本熱供給事業協会	2-404	ANHUI ZONGHUI REFRIGERATION CO., LTD. / QINGDAO KAITUO LONGHAI REFRIGERATORY ACCESSORY CO., LTD.	2-209
日本マグネティックス株式会社	2-401	Bo Sung Silicone Co., Ltd.	1-806
日本冷却器工業会	2-609	CALEFFI S.p.A	2-317
公益社団法人日本冷凍空調学会	1-314	China Chamber of Commerce for Import & Export of Machinery & Electronic Products(CCCME)	2-101
一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会	2-603	—NINGBO HRALE PLATE HEAT EXCHANGER CO., LTD.	2-101A
一般財団法人日本冷媒・環境保全機構	2-801	—JIANGSU YUANZHUO EQUIPMENT MANUFACTURING CO., LTD.	2-101B
ネグロス電工株式会社	2-607	—JIANGSU ZHAOSHENG BUILDING MATERIAL CO., LTD.	2-101C
有限会社熱産業新聞社	1-315	—WUXI LENGE PURIFICATION EQUIPMENT CO., LTD.	2-101D
パクマ工業株式会社	1-205	—AITCOOL INC	2-101E
パナソニック株式会社	2-802	—jiangyin hugenau heat exchange equipment co., ltd.	2-101F
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社	1-511	DANDONG TIANHAO CLARIFICATION MATERIAL CO., LTD.	2-321
株式会社原製作所	2-608	DESICCANT ROTORS INTERNATIONAL PVT. LTD.	2-316
ピース工業株式会社	1-502	Giacomini Asia - Pacific Limited	2-210
一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター	2-313	—株式会社ヨシタケ	2-210
BBKテクノロジーズ	2-408	GUANG DONG HANGJI METAL PRODUCT INDUSTRIES CO., LTD.	2-305
東尾メック株式会社	1-512	HEBEI BROTHER HAO PLASTICS PRODUCTS CO., LTD.	2-303
株式会社日阪製作所	2-320	ITAP s.p.a.	2-102
日立アプライアンス株式会社	1-802	IVAR SpA	1-807
－日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	1-802	Korea Refrigeration and Air-conditioning Industry Association	1-804
株式会社ビッツアージャパン	1-703	KYUNG DONG R&H CO., LTD.	2-315
日比谷総合設備株式会社	2-501	Legend Lifestyle Products Corp.	2-301
株式会社ヒラカワ	1-402	Mueller Refrigeration, LLC	2-206
株式会社不二工機	1-701	MYUNG JIN CO., LTD.	2-311
－東和産業株式会社	1-701	NürnbergMesse GmbH	2-615
株式会社FUSO	1-304	NANJING TICA AIR-CONDITIONING CO., LTD.	2-204
BLYGOLD JAPAN株式会社	2-803	Oventrop GmbH & Co.KG	1-106
フリアーシステムズジャパン株式会社	2-502	Sapa Precision Tubing (Suzhou) Co., Ltd.	1-504
株式会社古河テクノマテリアル	2-510	SHECCO JAPAN K.K.	1-803
フルタ電機株式会社	1-311	VIR-Valvoindustria Ing.Rizzio s.p.a.	1-104
プロステップ株式会社	2-601	WENLING SANMU MACHINE ELECTRICITY CO., LTD.	2-304
株式会社ホクエイ	1-609	WITTY MATE CORPORATION	2-302
株式会社前川製作所	1-704	WOLONG ELECTRIC GROUP CO., LTD.	2-207
三菱重工業株式会社	1-501	Yantai Henghui Copper Industry Co., Ltd.	2-203
三菱電機株式会社	2-213	ZHEJIANG SELENO SCIENCE AND TECHNOLOGY CO., LTD.	2-306
美浜株式会社	1-508	ZHEJIANG GOLDENSEA ENVIRONMENT TECHNOLOGY Co., LTD.	2-205
株式会社メイワ	1-403	ZHEJIANG HONGSEN MACHINERY CO., LTD.	2-202
明和産業株式会社	2-507	ZIBO HUANXIN HOUSEHOLD ELECTRIC APPLIANCE COMPONENT Co., LTD.	2-322
株式会社安川電機	2-405		
株式会社ヤブシタ	2-410		
ユーキャン株式会社	1-408		
ユーシー産業株式会社	1-410		
横浜油脂工業株式会社	1-308		
株式会社リークラボ・ジャパン	1-319		
Robinair/ROBINAIR	2-208		

開会式

- ▶ 日 時：平成28年2月23日（火）午前9時50分～10時00分
- ▶ 場 所：東京ビッグサイト 東展示棟1階
HVAC&R JAPAN 2016 会場入口（東2ホール）前
- ▶ テープカッター：経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 佐脇 紀代志 様
(一社)日本冷凍空調工業会 会長 本郷 一郎 様
日立ジョンソンコントロールズ空調（株）執行役員 坪久田 庄二 様
(一社)日本冷凍空調工業会 政策審議会 会長 酒井 猛 様
- ▶ 参 加 者：約160名



祝賀レセプション

- ▶ 日 時：平成28年2月23日（火）午前11時00分～12時15分
- ▶ 場 所：東京ビッグサイト 会議棟1階 レセプションホールA
- ▶ 主催者代表挨拶：(一社)日本冷凍空調工業会 会長 本郷 一郎 様
- ▶ 来賓 祝辞：経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 佐脇 紀代志 様
- ▶ 乾杯ご発声：日立ジョンソンコントロールズ空調（株）執行役員 坪久田 庄二 様
- ▶ 参 加 者：約180名



情報発信コーナー

HVAC&R JAPAN2016の開催テーマ

「さあ、グッ度な未来の冷熱技術を見に行こう。」をキーワードに、「来場者」「出展者」双方のモチベーション向上を目指して、ブースコンテストの実施やステージ展開を実施いたしました。

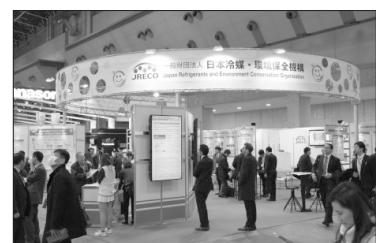
▽「あなたが選ぶベストブース！」 来場者アンケート兼ブースコンテスト投票

- ・タブレット端末による来場者アンケート兼ブースコンテスト投票
タブレット端末でスムーズにアンケート入力・抽選を行い、回答者全員にあたる賞品を用意することで例年以上のブース来場を促進。
多くの方々にアンケート及びブースコンテストに参加いただきました。



▽65インチデジタルサイネージによる大型パネル展示

環境問題への適切な対応、フロン排出抑制法対策、機器・性能表示、安全性への取り組みなど日本冷凍空調工業会の考える未来のあり方を大型サイネージパネルによりご紹介しました。
各パネルは日本語版・英語版にて表示し、海外からの来場者にも広くアピールしました。



JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 (JRECO)

「効果的な冷媒管理の実現」をテーマに、JRECO「冷媒管理システム」の解説プレゼンテーション及びシステム体験コーナーを設置。

また、「省エネ型自然冷媒機器普及促進事業」や「資格認定業務」など、JRECO事業を広く展開しました。



商談コーナー ➤

出展者と来場者が落ち着いたスペースでじっくり商談できる専用の商談コーナー・ドリンクカウンターを設置し、より重要なお客様との特別な空間としてご利用いただきました。



施設見学会 ➤

毎回好評いただいている見学ツアーでは、省エネ・省CO₂技術を駆使した熱源・空調システムを備える虎ノ門ヒルズの熱源機械室を訪問しました。

➤ 開催日時：平成28年2月25日（木）

第1回 10:10~11:00 (10:00 虎ノ門ヒルズ集合/2F虎ノ門側エントランス)

※第1回目の見学会は、虎ノ門ヒルズに集合。見学会終了後、バスで東京ビッグサイトに移動。

第2回 14:00~15:00 (13:20 東京ビッグサイト集合)

※第2回目は、東京ビッグサイトに集合後、バスで虎ノ門ヒルズに移動。

➤ 参加者：第1回 37名 / 第2回 33名



基調講演：会議棟6F ➔

2月23日(火)

基調講演 I 13:30~14:20

フロン排出抑制法の施行状況等について
～フロン類対策等の現状と課題～

経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 オゾン層保護等推進室 室長
米野 篤廣



基調講演 II 14:40~15:30

省エネルギー政策の動向～2016以降の展開～

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー対策課 課長
辻本 圭助



基調講演 III 16:00~16:45

二国間クレジット制度(IJC)の最新動向

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
市場メカニズム室 国際連携課 國際地球温暖化対策室 國際企画官
水野 勇史



2月24日(水)

基調講演 IV 11:00~11:50

いよいよ始まる建築物省エネ基準の適合義務化
～建築確認申請における設備機器の性能確認について～

国土交通省国土技術政策総合研究所 住宅研究部 建築環境研究室 主任研究官
宮田 征門



一般講演：会議棟6F ➔

2月25日(木)

講演① 10:00~10:30

低GWP冷媒"AMOLEA®"の開発

旭硝子株式会社 AGC化学品カンパニー 技術統括本部
プロフェッショナル
福島 正人



講演① 10:30~11:00

ケマーズ社次世代冷媒の最新情報

三井・デュポンフロロケミカル株式会社 ケミカルズ事業
主幹 環境・ビジネス開発
石川 淳一



講演① 11:00~11:30

温暖化規制対応用に開発した冷藏冷凍用冷媒

ダイキン工業株式会社 化学研究開発センター
グループリーダー 主席研究員
柴沼 俊



講演① 11:30~12:00

Solstice®(ソルスティス) 低GWP冷媒

ハネウェルジャパン株式会社
パフォーマンス・マテリアルズ・アンド・テクノロジーズ ゼネラルマネージャー
瀧瀬 勝之



講演② 13:00~13:45

H26年度 中国における特許出願技術動向調査
-空気調和機(エアコン)-

特許庁 審査第二部 冷却機器 審査官
小野田 達志



講演③ 14:00~14:45

進化し続けるガス空調
～環境変化を捉えたソリューション開発と超高効率GHP
XAIR(エグゼア)II～

東京ガス株式会社 ソリューション技術部 空調技術チームリーダー
安田 研



講演④ 15:00~15:45

ISO BACS/BEMSの最新動向とスマートグリッド

協立機電工業株式会社 環境ソリューション部 技師長
豊田 武二



講演⑤ 16:00~16:45

情報処理センターの活用について
～冷媒管理システムの紹介と活用～

一般財団法人日本冷媒・環境保全機構 専務理事
作井 正人



講演⑥ 10:00~10:45

ヒートポンプ機器の性能評価に関するJATL研究活動について

一般財団法人日本空調冷凍研究所
専務理事／所長 竹内 智芳
技術部担当部長 平田 亮太



講演⑥ 10:00~10:45

ヒートポンプ機器の性能評価に関するJATL研究活動について



2月26日(金)

講演⑦ 11:00~12:00

フロン排出抑制法における管理者の義務と
設備業者の役割について

一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会 事務局次長
大沢 勉



講演⑧ 13:00~13:45

省エネ・省CO₂に貢献するヒートポンプ技術

一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター業務部 課長
渡邊 幸芳



特別企画：会議棟6F

2月24日 (水)

特別企画 13:00～13:30

冷媒管理の最新動向 —日本冷凍空調工業会の取り組み

一般社団法人日本冷凍空調工業会 専務理事
岡田 哲治



特別企画 13:30～14:10

次世代冷媒に関する技術動向について

東京大学 新領域創成科学研究所 人間環境学専攻 教授
飛原 英治



特別企画 14:10～14:50

欧州の冷媒（フロンガス）政策について Fガス規制導入後の最新状況

The European Partnership for Energy and the Environment,
AP EuroConsult sprl, Director General, Ms. Andrea Voigt



特別企画 14:50～15:30

世界のHFC削減活動に対する米国業界支援

Alliance for Responsible Atmospheric Policy, Director,
Mr. Stephen Van Maren



特別企画 15:30～16:10

中国における代替冷媒開発状況について

China Refrigeration and Air-Conditioning Industry Association,
Deputy Director, Ms. Liu Yan Song



特別企画 16:10～16:50

オーストラリアにおける冷媒管理政策について

Refrigerants Australia, Executive Director,
Dr. Greg Picker



恒例企画：会議棟6F

2月25日 (木)

恒例企画 13:30～16:50

日本冷凍空調学会 技術賞セミナー

公益社団法人日本冷凍空調学会

出展者プレゼンテーション：東2ホール プrezentationステージ

2月23日 (火)

14:00～14:45

安川マトリクスコンバータU1000と新製品GA700のご紹介

株式会社安川電機 インバータ事業部 事業推進部 販売推進課
真木 孝徳

2月24日 (水)

14:00～14:45

省エネ型自然冷媒機器の導入がもたらすメリットの紹介

省エネ型自然冷媒機器メーカー数社

2月25日 (木)

13:00～13:15

地域熱供給の現況について

一般社団法人日本熱供給事業協会 広報部長
水澤 孝章

13:15～13:45

田町駅東口北地区におけるスマートエネルギーネットワーク構築

一般社団法人日本熱供給事業協会 スマートエネルギーネットワークシステム部 マネージャー
坂齊 雅史

14:00～14:45

CAREL 電子膨張弁 ExVシステムのご紹介

CAREL Japan 株式会社 代表取締役社長
柴田 勝紀

2月26日 (金)

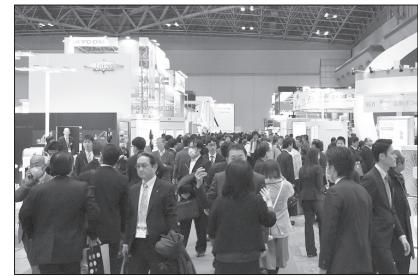
14:00～14:45

安川マトリクスコンバータU1000と新製品GA700のご紹介

株式会社安川電機 インバータ事業部 事業推進部 販売推進課
真木 孝徳

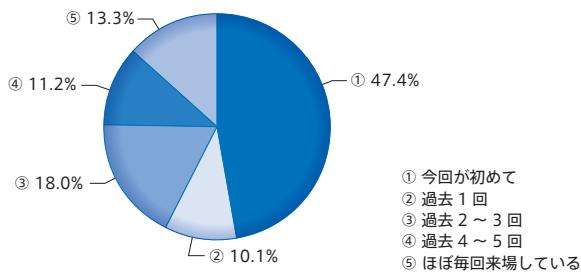
アンケート結果 ➤

2018年の次回開催に向けて、様々なお声をお聞かせいただきました。
ご協力ありがとうございました。

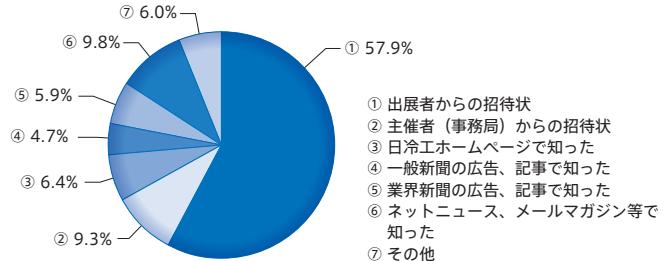


来場者アンケート (有効回答者数: 2,275)

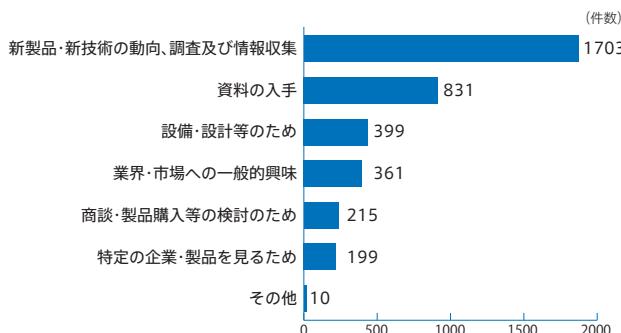
Q1 本展へのご来場は何回目ですか。



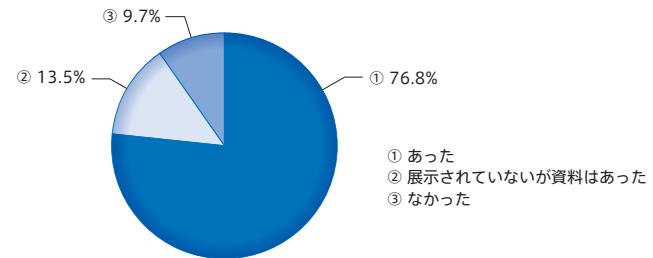
Q2 Q1で初めてと答えた方にお聞きします。 本展示会を何から見聞きして知りましたか。



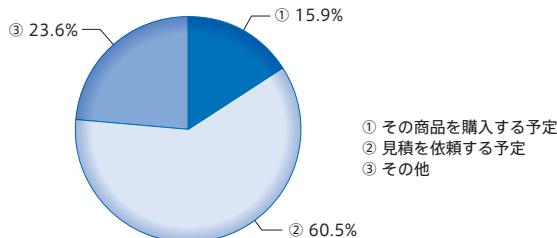
Q3 ご来場の目的は何ですか。(複数回答)



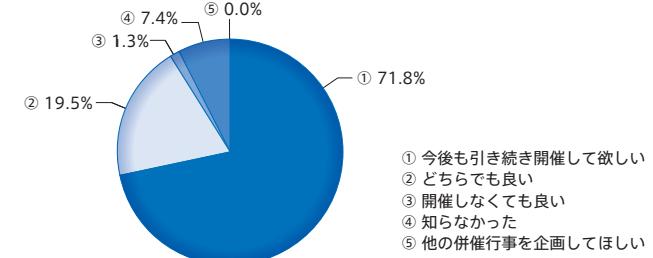
Q4 お目当ての出展物・情報はございましたか。



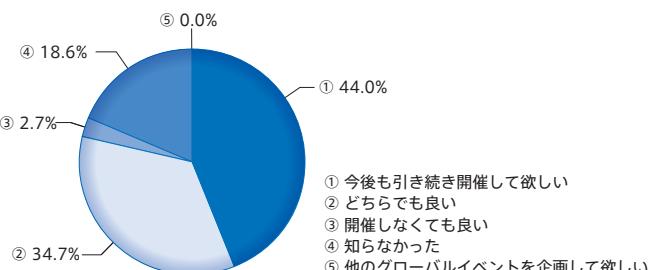
Q5 Q4でお目当ての出展物・情報が「あった」と答えた方に質問いたします。



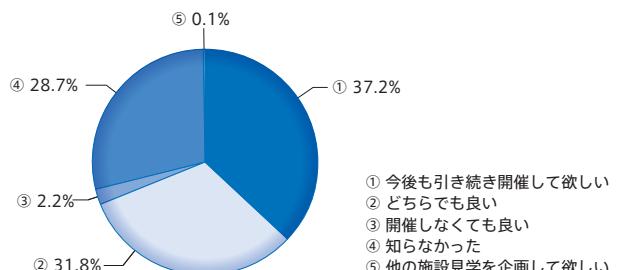
Q6 併催行事の基調講演、一般講演、セミナーについてお聞かせください。



Q7 併催行事の特別企画(海外工業会キーパーソンのプレゼンテーション)についてお聞かせください。



Q8 併催行事の施設見学会(虎ノ門ヒルズ施設見学)についてお聞かせください。



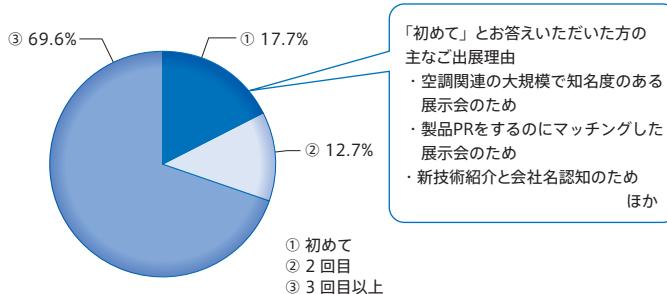
来場者の声

- 大変素晴らしい。会場の明るさ、広さがちょうどよい。
係員の説明も良かったです。
- 各メーカーの開発の思いが理解しやすい
- 活況でこちらも気持ちが入ります。次回も来場したいと思います。
- これからも技術の向上に期待したい
- 知識のスキルアップにつながった
- 最先端の空調設備機器情報を見て良かった。
- 事前登録はよかったです

- 日本一の展示会素晴らしい
- 次回は出展します
- いろんなブースを見学できて今後の業務に行かしていきたいです
- ここ最近、参加させていただいておりますが最新の技術がわかりやすく、説明付で実機を見ることが出来るためいい勉強になります。今後も開催日時が合えば参加させてください
- 普段なかなか見られない機器を見ることができ、楽しかったです。
- 引き続きの開催を楽しみにしています。

出展者アンケート (有効回答社数: 102)

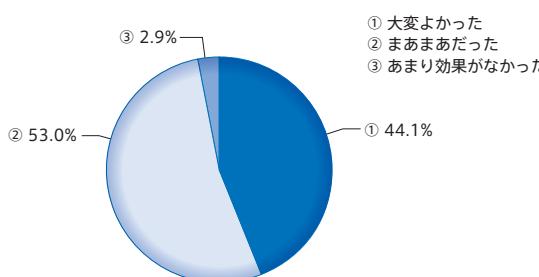
Q1 本展へのご出展回数について



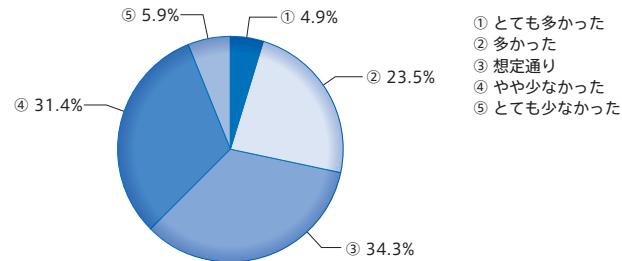
Q2 今回出展された目的について(複数回答)



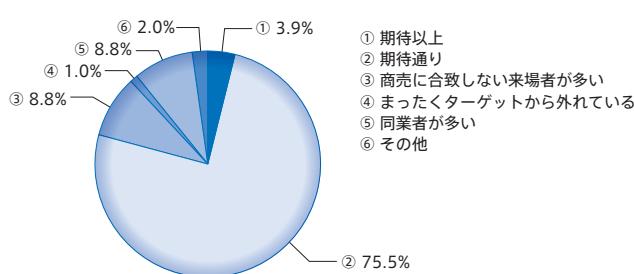
Q3 今回出展された感想について



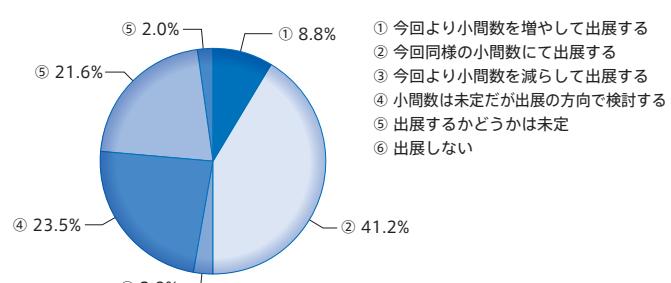
Q4 貴社ブースを訪れた来場者について



Q5 来場者に対する満足度について



Q6 次回「HVAC&R JAPAN 2018」への出展について



出展者の声

- 大企業が展示される中、小さな企業でも出展できる すばらしい展示会を開催頂きありがとうございます。
- 講演会の新たな取り組みはよかったです。
- 展示小間と通路の配置に工夫が見られ、非常に良かったと思います。次回も是非出展したいと考えておりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。
- ガス業界と連携して、本当の意味でHVAC&R業界が全て揃う本物のHVAC&R展へ発展・展開させて頂きたい。
- 他分野の方が来られると別視点での拡販につながったので、次回開催の際には別の展示会と提携できるとありがたいです。

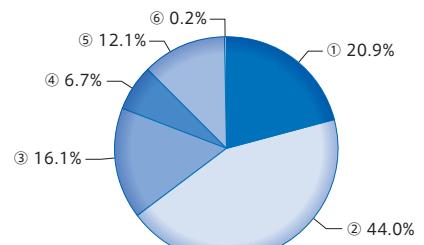


第1回ベストブースコンテスト結果

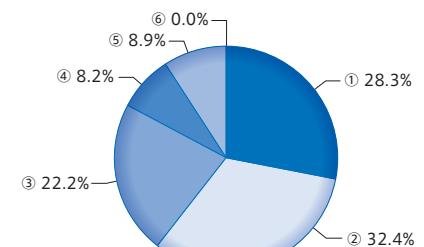
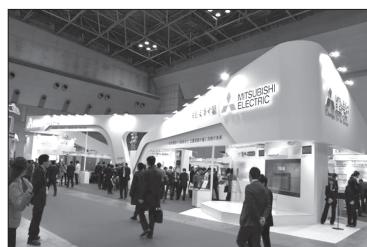
全出展者の部



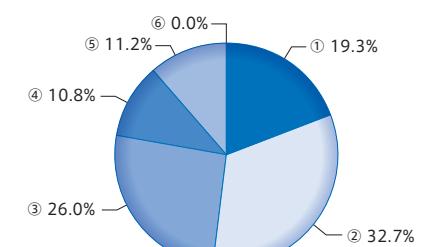
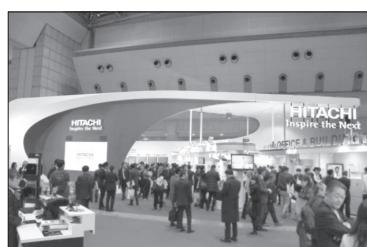
ダイキン工業株式会社 殿



三菱電機株式会社 殿



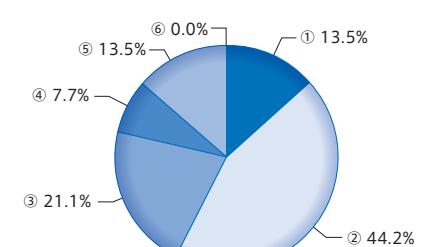
日立アプライアンス株式会社 殿



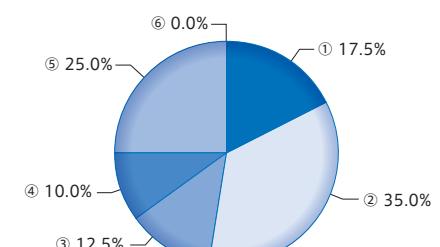
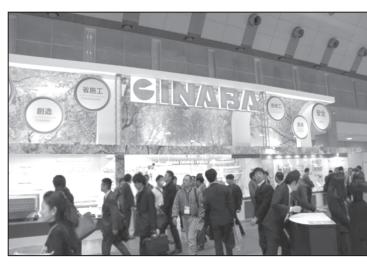
10小間未満出展者の部



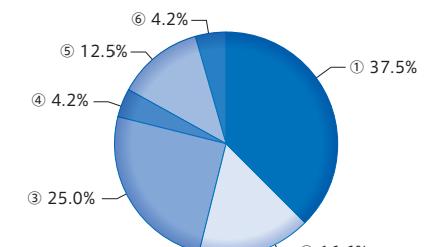
パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社 殿



**因幡電機産業株式会社
電工事業部 殿**



**株式会社クボタ
電装機器開発営業部 殿**



広報・宣伝活動

当工業会によるプロモーション活動の他、各メディアをはじめ、関係各社・団体のご協力を得て、多面的な広報展開を実施しました。

各種広報ツール

① 来場案内



◀ 和文来場案内



◀ 英文来場案内

② ホームページ

<http://www.hvacr.jp/>

出展者による入稿システム「出展者専用WEB」を活用し、企業情報だけでなく、展示予定製品や見どころをウェブ掲載しました。これにより来場者は、開催前から「社名や関連キーワード」による検索の他、「出品製品カテゴリー」による絞り込みで、お探しの製品・技術を見つけやすくなりました。



出展者検索ページ ▶

③ キービジュアル



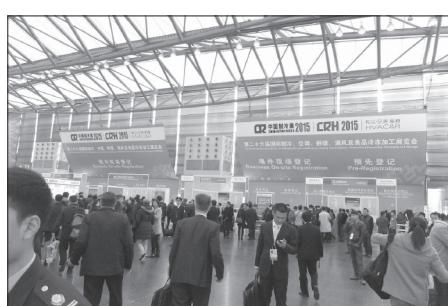
海外プロモーション

HVAC&R JAPAN 2016のPRブースとして「Chillventa 2014(ドイツ)」、「中国制冷展2015(中国)」に出展。アジアをはじめ世界各国の企業と交流をはかり、HVAC&R JAPAN 2016へのグローバルな出展勧誘および来場プロモーションを実施しました。

▼ Chillventa 2014



▼ 中国制冷展2015



新聞・雑誌への広告・ラジオCM・特集記事掲載

媒体名一覧

- ・日経産業新聞
 - ・日本経済新聞
 - ・経産新報
 - ・日刊工業新聞
 - ・空調タイムス
 - ・JARN
 - ・日経IDターゲティングメール
 - ・TOKYO FM

出展者募集廣告

日経産業新聞 発行部数：約13万部 掲載日：2015/7/15

日刊工業新聞 発行部数：約42万部 掲載日：2015/7/31

来場者動員(事前登録推進) 広告

▶ 日経IDターゲティングメール 約1万通 実施日:2015/12/8



来場者動員廣告

▶ 日本経済新聞 発行部数：約274万部

揭載日：2015/12/18

広 告

2016年2月23日(火)~26日(金) 東京ビッグサイト

http://www.hvacr.jp/

**2016年2月開催
2年に1度の大規模展**

世界最大級の総合暖房・空調・衛生機器見本市

最新技術と実践的な知識を学ぶ

新規登録料金割引

本日から来場事前登録の受け付け開始

お申込みは簡単! フリー登録

新規登録料金割引

セパレート型のチラーエヌフ

ダイキン工業株式会社 小林幸一・201

断熱材のバブル形
で構成した吸音吸湿
ユニット「JIZAI」をはじめ、
吸音吸湿機能をもつ
新規登録料金を半額
で販売する。

分野別に日本の最新技術を紹介

日立アプライアンス株式会社 小林幸一・1,802

東洋瓦斯の「熱線傳導の
壁」、モルタルの「熱線傳導
壁」から、日々「これ
がいい」と思われる「熱
線傳導壁」を紹介する。
また、モルタルの「熱
線傳導壁」を用いた「熱
線傳導壁」の施工方法を
解説する。

ルームエアコンの最新機種を紹介

三洋電機株式会社 小林幸一・2,213

三洋マルチファン
ルームエアコンは、これまで
のルームエアコンの常識を
覆す、驚きの機能を備え
ています。また、この機種は
これまでのルームエアコン
の常識を覆す、驚きの機能を
備えています。

GHP/XAIR II/T1シリーズを展出

パナソニック株式会社 小林幸一・2,802

今冬も発売元の「GHP/XAIR II/T1」の
新規登録料金を半額で販
売する。また、同機種は、温水ヒート
ポンプ方式の「GHP/XAIR II/T1」の
新規登録料金を半額で販売す
る。また、同機種は、温水ヒート
ポンプ方式の「GHP/XAIR II/T1」の
新規登録料金を半額で販売す
る。

冷凍空調機器の今を知ろう、
それが、未来の力になる。

国内外の最新技術を紹介!

大企業からスタートアップまで、
様々な企業が集結する「ヒーバック
& アール ジャパン2016」。最新
技術を学ぶだけでなく、新規登録
料金も過去最低の33社と、見逃せ
ない魅力です。

具体的に知り「プロフェッショナル

な技術者へ向けて、「プロフェッショナル
登録料金」を設けました。技術者登録料金と
の割引率は、専門性の高い技術者登録料金につ
いて詳しくご紹介します。

高齢化・省エネ対策を学ぶ!

高齢化社会の問題を解決するため、
省エネルギー対策として多くの
技術者が登録する。また、日本全国の
最新グッドストアによる講習会、
各会場にて行います。

**ヒーバック&アール ジャパン 2016
第39回 冷凍・空調・暖房展**

過去最大級の出展!

●2016年2月23日(火)~26日(金) 10:00~17:00

東京ビッグサイト 東1ホール・東2ホール

TEL:03-3279-3544 FAX:03-3279-3545

E-mail: hvacr@bigsite.jp URL: http://www.hvacr.jp/

GOO°C FUTURE

まあ、グッ度な未来の冷凍技術を見にいこう。

掲載日: 2015/11/29

揭載日：2016/1/5、2/5

一般社団法人 日本冷凍空調工業会

同団体主催 ヒーバック&アールジャパン2016
第39回 冷凍・空調・暖房展(会場:東京ビッグ+



揭載日: 2016/2/18

▶ TOKYO FM「ドライバーズ・インフォ」(ラジオCM放送)
実施日: 2016/1/2~3、14~15、21~22、28~29 計8回

自宅外での接触も高いラジオCMを利用した広報活動を実施。

【聴取可能エリア】

ターゲット 0歳~80歳				
	カバー率(%)	合計(人)	男(人)	女(人)
全体	12.0	252,101	122,932	129,169
福島県	97.0	288,874	1,448,783	1,450,091
茨城県	100.0	2,009,495	1,000,048	1,009,447
群馬県	99.0	1,999,837	984,816	1,011,421
埼玉県	100.0	7,019,918	3,541,321	3,476,597
千葉県	100.0	6,005,652	3,030,363	3,005,269
東京都	100.0	12,727,367	6,098,396	6,174,971
神奈川県	100.0	8,693,373	4,394,060	4,299,323
山梨県	85.0	747,351	367,599	379,752
長野県	4.0	87,634	42,817	44,817
静岡県	33.0	1,246,045	615,116	630,929
総合計		43,263,647	21,649,841	21,613,806

経産新報 発行部数：約1,500部 掲載日：2016/1/25

JABN WEBバナー掲載 掲載期間:2016/1/18~2/26



展示会についてのお問い合わせ

※2016年4月より、下記連絡先に変更になります。

HVAC&R JAPAN 事務局

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL: 03-5657-0755 FAX: 03-5657-0645 E-mail: hvac@jtbcom.co.jp